

令和7年度 立正大学大学院橋経済支援奨学生
学費等生活費に係る年間収支見込書

提出書類③

1. 年間収支見込書

令和7年1月～12月の収入および支出について、裏面の注意事項をよく読み、予定金額を記入して下さい
(合計時に1万円未満切り捨て)。見込まれない項目については、「0」と記入してください。

支出項目		予定金額	収入項目	予定金額
令和7年度	入学金 (令和7年度新入生のみ) ※1	万円	学生本人の収入(正規雇用・自営業) ※1	万円
	授業料(1年分) ※2	56.3万円	学生本人の収入(非正規雇用) ※1	万円
	施設等諸費(1年分) ※3	万円	配偶者の収入 ※1	万円
通学費・図書費等		万円	給付奨学金 ※2	万円
食費 ※4		万円	貸与奨学金 ※2	万円
居住費(家賃・住宅ローン等) ※5		万円	(うち学部生として受給予定の奨学金)	(貸与) 万円 (給付) 万円
光熱費・水道代・通信料など ※6		万円	本人の預貯金取り崩し ※3	万円
※現在在籍者で1月以降に支払った者のみ 令和6年度学費(後期分) ※7		万円	父母(または第三者)からの給付 ※4	万円
支払日:				
その他支出 ※8		万円	その他収入	万円
支出見込合計		万円	収入見込合計	万円

支出見込合計 ≤ 収入見込合計 であること! ▲1

2. 資産に関する確認

申請時点での資産額について、下記から当てはまるものを選択してください。なお、「はい」を選択した場合は、資産額合計および内訳を記入してください。※後日、預貯金残高証明等書類を求める場合があります。

パターン ① 本人の資産額が1250万円を超えますか。	はい (資産額合計 _____ 万円)	いいえ
パターン ② 本人および父母の合計資産額が2000万円を超えますか?	はい(資産額合計 _____ 万円) 本人 _____ 万円、父母 _____ 万円	いいえ
パターン ③ 本人および配偶者の合計資産額が2000万円をこえますか?	はい(資産額合計 _____ 万円) 本人 _____ 万円、配偶者 _____ 万円	いいえ
パターン ④ 本人、配偶者および本人の父母の合計資産額が3000万円をこえますか?	はい(資産額合計 _____ 万円) 本人 _____ 万円、配偶者 _____ 万円、父母 _____ 万円	いいえ

資産に含むもの

- 現金及びこれに準ずるもの(投資信託、投資用資産として保有する金・銀等) (※1)
- 預貯金(普通預金、定期預金等)、有価証券(株式、国債、社債、地方債等) (※2)
- 満期や解約等により現金化した保険 (※3)

※1 退職金も含まれます。
 ※2 有価証券や投資信託は時価で換算してください。
 ※3 満期・解約前の掛け金は含みません。貯蓄型生命保険や学資保険も含みません。
 ※4 土地・建物等の不動産は対象になりません。また、住宅ローン等の負債と相殺することはできません。

なお、父母いずれも逝去しており、実子から支援を受けている場合は、父母として扱ってください。

■支出項目について注意事項

- ※1 いずれの研究科も25万円です。「25」と記入してください。
ただし、本大学院在籍者および令和7年度入学予定の内部進学者は「0」と記入してください。
- ※2 いずれの研究科も56.3万円です。
ただし、長期履修生は金額が異なります。二重線で削除のうえ余白に金額を記入してください。
- ※3 施設等諸費は、以下のとおりです。

文学 経営学	経済学	法学	社会福祉学	地球環境科学	心理学
12.3万	15.0万	(2022年以前入学) 12.3万 (2023年以降入学) 13.5万	15.5万	(環境システム) 29.5万 (地理空間システム) 21.5万	(2019年以前入学) 19.0万 (2020年以降入学) 22.0万

- ※4 父母などの生計維持者と同居している場合は、生計維持者に食費として支払っている額や、
外食等での見込みの額を記入してください。【例：2（万円／月）×12（か月）＝24（万円）】
- ※5 家賃や住宅ローンの支払いなど居住費が発生している場合はその金額を記入してください。
契約等が済んでいない場合は、予定の見込み金額を算出・記入してください。
- ※6 父母などの生計維持者と同居している場合は、自身が支払う分だけ見込み金額を記入してください。

- ※7 現在、本大学院在籍者で令和6年度後期の学費を1月以降に支払う方は以下のとおり記入してください。

文学 経営学	経済学	法学	社会福祉学	地球環境科学	心理学
34.8万	36.1万	(2022年以前入学) 34.8万 (2023年以降入学) 35.4万	36.4万	(環境システム) 43.4万 (地理空間システム) 39.4万	(2019年以前入学) 38.1万 (2020年以降入学) 39.6万

- ※8 交際費や令和8年度学費への積立金等、上記支出に該当しないものをすべて合算して記入してください。

■収入項目について注意事項

**！！提出書類②『提出収入書類チェックシート』をご確認の上、
該当する収入書類を根拠書類として金額を記入してください！！**

- ※1 本人の収入および配偶者の収入は、課税証明書に記載の所得金額を記入して下さい。
本人の収入および配偶者の収入は、令和5年1月2日以降に就労先の1つでも就職・退職・開業・閉業している場合は、別紙『収入年額計算書』に記入した参考年間所得金額を記入して下さい（退職して現在無職の場合、0円）
- ※2 給付奨学金および貸与奨学金は、申請書の『2. 他の奨学金申請・受給状況』に記入した奨学金の令和7年1月～12月の年間給付・貸与予定総額を記入して下さい。
**なお、本奨学金（令和7年度立正大学大学院橋経済支援奨学金）は含めないでください。
日本学生支援機構奨学金に申込中、または申込予定の場合は、採用見込として記載してください。
本年4月に入学予定の方で、1～3月に学部生として奨学金を受給予定の場合は、その金額および月額を記載してください。**
- ※3 本人の預貯金取り崩しは、令和7年1月～12月に取り崩す予定の年額を記入して下さい（預貯金の残高額ではありません）。
- ※4 父母・第三者からの給付は、別紙『援助年額証明書』に記載の金額を記入して下さい。
なお、父母いずれも逝去しており、実子から支援を受けている場合は、「父母」として扱ってください。

■支出と収入のバランスについて

- ▲1 必ず「支出見込合計 ≤ 収入見込合計（支出見込額が収入見込額を上回らない）」としてください。
もし支出が収入を上回った場合は、支出見込額および収入見込額を見直してください。